

Docket No. 3008-25
Client No. PHNF-01075



GAN 2152

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of
Kitamura, et al.

Appln. No.: 09/837,216

Filed: April 19, 2001

For: METHOD FOR TRANSMITTING INFORMATION

:
:
: Group Art Unit: 2152
:
: Examiner: Unassigned
:
:

RECEIVED
SEP 24 2001
Technology Center 2100

Honorable Assistant
Commissioner
for Patents
Washington, DC 20231

I hereby certify that this paper or fee is
being deposited with the U.S. Postal Service
as First Class Mail addressed to Assistant
Commissioner for Patents, Washington, D.C.
20231

on

September 19, 2001
Lisa Deford
Signature

Sir:

Transmitted herewith is a Certified Copy of Japanese Patent Application
No. 2000-118591 in the above-identified application.

[X] No additional fee is required.

[] Also attached:

fee has been calculated as shown below:

	NO. OF CLAIMS	HIGHEST PREVIOUSLY PAID FOR	EXTRA CLAIMS	RATE	FEE
Total Claims			0	x \$18 =	\$0
Independent Claims			0	x \$80 =	\$0
Petition for Extension of Time for---- month					\$0
TOTAL FEE DUE					\$0

[] A check in the amount of \$_____ is attached

[X] Commissioner is hereby authorized to charge any additional fees associated with this communication or credit any overpayment, to Deposit Account No. 12-0429, including any filing fees under 37 CFR 1.16 for presentation of extra claims and any patent application processing fees under 37 CFR 1.17.

Respectfully submitted,

LALOS & KEEGAN



Alfred A. Stadnicki
Registration No. 30,226

1146 Nineteenth Street, N.W.
Fifth Floor
Washington, D.C. 20036-3703
Telephone: (202) 887-5555
Facsimile: (202) 296-1682
Date: September 18, 2001



日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年 4月19日

出願番号

Application Number:

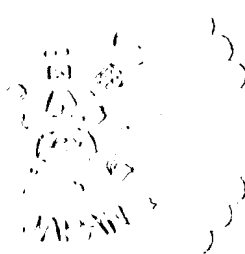
特願2000-118591

出願人

Applicant(s):

株式会社ハドソン

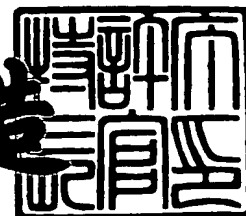
RECEIVED
SEP 24 2001
Technology Center 2100



2001年 4月27日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3036311

【書類名】 特許願

【整理番号】 PHN00085

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06K

【発明者】

【住所又は居所】 北海道札幌市豊平区平岸 3 条 5 丁目 1 番 1
8 号 株式会社ハドソン内

【氏名】 北村 吉正

【特許出願人】

【識別番号】 591095856

【氏名又は名称】 株式会社ハドソン

【代理人】

【識別番号】 100071526

【弁理士】

【氏名又は名称】 平田 忠雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 038070

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報伝達方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

送信端末と受信端末の間でインターネットを介して情報を伝達する情報伝達方法において、

前記インターネットのサーバに前記送信端末より前記受信端末へ送信する送信データのパーツとなるデータを記憶させるステップと、

前記送信端末のディスプレイ上で前記データを利用して前記送信データを作成するステップと、

前記送信データを前記インターネットのサーバに記憶させるステップと、

前記インターネットのサーバに記憶された前記送信データを前記受信端末に配送するステップと、

配送された前記送信データを前記受信端末のディスプレイ上に表示するステップを含み、

前記送信端末と前記受信端末の間で情報を伝達するステップは、前記送信端末と前記受信端末の少なくとも 1 つの端末に携帯電話機等のモバイルツールを使用して行われることを特徴とする情報伝達方法。

【請求項 2】

送信端末と受信端末の間でインターネットを介して情報を伝達する情報伝達方法において、

前記インターネットのサーバに前記送信端末より前記受信端末へ送信する送信画像のパーツとなる画像を記憶させるステップと、

前記送信端末のディスプレイ上で前記画像を利用して前記送信画像を作成するステップと、

前記送信画像を前記インターネットのサーバに記憶させるステップと、

前記インターネットのサーバに記憶された前記送信画像を前記受信端末に配送するステップと、

配送された前記送信画像を前記受信端末のディスプレイ上に表示するステップ

を含み、

前記送信端末と前記受信端末の間で情報を伝達するステップは、前記送信端末と前記受信端末の少なくとも 1 つの端末に携帯電話機等のモバイルツールを使用して行われることを特徴とする情報伝達方法。

【請求項 3】

前記送信画像を作成するステップは、前記インターネットのサーバより異なった複数の前記画像を読み出して前記送信端末のディスプレイ上で合成することによって行われることを特徴とする請求項 2 項記載の情報伝達方法。

【請求項 4】

前記送信画像を作成するステップは、前記送信画像に前記受信端末へ送信される文字情報を付加して行われることを特徴とする請求項 2 項記載の情報伝達方法。

【請求項 5】

前記情報を伝達するステップは、前記送信端末および前記受信端末として携帯電話機等のモバイルツールを使用して行われることを特徴とする請求項 2 項記載の情報伝達方法。

【請求項 6】

前記モバイルツールを使用して情報を伝達するステップは、前記受信端末としての前記モバイルツールが前記送信画像をディスプレイ上に表示しないとき、前記送信端末としての前記モバイルツールから前記受信端末としての前記モバイルツールへ電話回線を介してディスプレイ上への表示を促す電話メッセージを送信することを特徴とする請求項 5 項記載の情報伝達方法。

【請求項 7】

前記送信画像を前記受信端末のディスプレイ上に表示するステップは、前記インターネットのサーバより前記画像を読み出して前記送信画像の一部を修正することにより返信画像を作成するステップを含むことを特徴とする請求項 2 項記載の情報伝達方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報伝達方法に関し、特に、携帯電話機等のモバイルツールの i モードより画像情報及び容量の大きい文字データを含んだ送信情報を伝達することのできる情報伝達方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

小型化および多機能化など、近年の携帯電話機の発展には著しいものがあり、特に、インターネットを利用して文字情報の伝達を行うことのできるいわゆる i モードの普及は、携帯電話機およびインターネットの将来に大きな可能性を持たせている。

【0 0 0 3】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、従来の i モードの携帯電話機によると、送信できるのは限られた容量の文字情報に限られ、これに画像情報を添付して送信することは不可能である。これは、携帯電話機のメモリの記憶容量の限界からくるもので、i モードの可能性を制約している。一方、携帯電話機のメモリの記憶容量を大きくすると、携帯電話機の大型化を招くために好ましくない。

【0 0 0 4】

従って、本発明の目的は、モバイルツールの記憶容量の増大を図ることなく、画像情報及び容量の大きい文字データを含んだ送信情報の伝達を可能にした情報伝達方法を提供することにある。

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記の目的を達成するため、送信端末と受信端末の間でインターネットを介して情報を伝達する情報伝達方法において、

前記インターネットのサーバに前記送信端末より前記受信端末へ送信する送信データのパーツとなるデータを記憶させるステップと、

前記送信端末のディスプレイ上で前記データを利用して前記送信画像を作成するステップと、

前記送信画像を前記インターネットのサーバに記憶させるステップと、
前記インターネットのサーバに記憶された前記送信画像を前記受信端末に配送するステップと、
配送された前記送信データを前記受信端末のディスプレイ上に表示するステップを含み、
前記送信端末と前記受信端末の間で情報を伝達するステップは、前記送信端末と前記受信端末の少なくとも1つの端末に携帯電話機等のモバイルツールを使用して行われることを特徴とする情報伝達方法を提供する。
本発明は、上記の目的を達成するため、送信端末と受信端末の間でインターネットを介して情報を伝達する情報伝達方法において、
前記インターネットのサーバに前記送信端末より前記受信端末へ送信する送信画像のパーツとなる画像を記憶させるステップと、
前記送信端末のディスプレイ上で前記画像を利用して前記送信画像を作成するステップと、
前記送信画像を前記インターネットのサーバに記憶させるステップと、
前記インターネットのサーバに記憶された前記送信画像を前記受信端末に配送するステップと、
配送された前記送信画像を前記受信端末のディスプレイ上に表示するステップを含み、
前記送信端末と前記受信端末の間で情報を伝達するステップは、前記送信端末と前記受信端末の少なくとも1つの端末に携帯電話機等のモバイルツールを使用して行われることを特徴とする情報伝達方法を提供するものである。

【 0 0 0 6 】

本発明によれば、インターネットが備えるサーバの記憶容量を利用して送信データあるいは送信画像を作成するための部分データあるいは部分画像をストアし、この部分データあるいは部分画像を合成した送信データあるいは送信画像をサーバを介して相手側に送信することで情報伝達が行われるため、モバイルツールのメモリの記憶容量を増やすことなくデータあるいは画像情報の作成と伝達が可能になる。

従って、モバイルツールに要求される記憶容量は、作成された送信データあるいは送信画像をディスプレイ上に表示する程度のものでよく、ツールの大型化を招くようなことがない。

【0007】

送信画像は、サーバが記憶している部分画像同士を組み合わせることによって作成するのが普通であるが、サーバが記憶している完成画像を呼び出して単に指定するだけでもよく、あるいは完成画像をサーバより呼び出した後、この画像の所定の部分をサーバより呼び出した部分画像で置き換えることによって作成してもよい。

【0008】

サーバを介した送信は、単数あるいは複数のいずれを対象に行ってもよい。

送信しようとする画像、または送信された画像をファイルの形でサーバに保存したり、あるいは送信された画像を受信側とサーバ間のやり取りによって修正し、これを送信側に返信することも可能である。また、送信相手のツールは、必ずしも携帯電話機とは限らず、パソコンのホームページであってもよい。

【0009】

【発明の実施の形態】

次に、本発明による情報伝達方法の実施の形態を説明する。

図1の実施の形態は、顔のモンタージュを作成し、これを画像情報として送信する例を示したものである。送信側が、サーバに記憶されている種々の顔のパーツより所定のパーツを選択し、これを携帯電話機のディスプレイ上で組み合わせることによって自分のモンタージュを作成し、作成したモンタージュをメッセージとともにサーバに記憶させ、これをサーバより受信側の携帯電話機に配送するものである。

【0010】

図1の(a)において、1は送信側の携帯電話機、2は受信側の携帯電話機、3はこれらがアクセスするインターネットのサーバ、4は電話基地局を示す。

携帯電話機1および2は、作成された、あるいは送信されたモンタージュを表示するだけの小容量のメモリ（図示せず）を有している。また、サーバ3は、部

分画像、たとえば、顔のパーツを記憶する領域 a と、作成された完成像、たとえば、顔のモンタージュを送受信者の各自別に記憶する個有の領域 b を有している。

【 0 0 1 1 】

図 1 の (b) は、モンタージュの作成と送信手順を示す。まず、送信側において送信者の顔のモンタージュ（以下、図には「顔モン」と表示）5 が作成される。このモンタージュ 5 の作成は、髪形、眉毛、目など顔の各パーツ別にサーバ 3 の領域 a が記憶する様々な形の中から最適と思われるものを選択することによって行われる。

【 0 0 1 2 】

パーツの選択は、送信側の携帯電話機 1 のキーボード 6 の操作によって行われ、選択されたパーツは、ディスプレイ 6 上において互いに合成され、所定のモンタージュ 5 となる。

図 2 は、モンタージュ 5 を作成するための G I F 画像における画素例を示したもので、(a) に示されるように髪形、眉毛、目、鼻、口および輪郭の 6 要素が図示されるピクセル値のもとに構成され、これらが (b) のように合成されることによってモンタージュ 5 が作成される。

【 0 0 1 3 】

図 1 の (b) において、モンタージュ 5 が完了すると、次に、サーバ 3 が記憶している各種の行事画よりクリスマス画 8 等が呼び出されて付加され、さらに、キーボード 6 よりメッセージ 9 が入力されて A のカードが作成される。以上によりカード作成が完了すると、ディスプレイ 7 上に、カード作成完了を告げる表示とメールアドレスの入力指示が B のように表示され、これに対応して所定のキー操作を行うと、メール送信 C が行われる。メールの内容は、サーバ 3 に記憶されるとともに、サーバ 3 より受信側の携帯電話機 2 に配送される。

【 0 0 1 4 】

携帯電話機 2 に着信報知があり、受信者がこれに対応してメールを開封すると、ディスプレイ 1 0 上に受信 D が表示され、表示されたアドレスにアクセスすることによって E が表示され、これにより画像と文字情報の伝達が完了する。なお

、受信側がメールを開封しない場合には、電話基地局 4 を介した電話連絡がとられ、受信者によるメールの開封を促すことができる。

【 0 0 1 5 】

図 3 は、図 1 の実施の形態に受信側よりの返信を織り込んだ実施の形態を示す。受信側（返信側）のディスプレイ 1 0 上に表示された着信 F に加工を加えて返信を行う例である。F の受信は、携帯電話機 2 の i モードによって行われるのが普通であるが、パソコンのホームページによっても受信可能である。

【 0 0 1 6 】

F に付されたメッセージ 1 2 にしたがってリアクション 1 3 の項目を選択すると、i モードの場合には、G の画面が表示される。次いで、サーバ 3 とのやり取りによってカードを作成し、必要によりアルバム保存 H を図 1 の（a）のサーバ 3 の領域 b に行った後、これをサーバ 3 を介して返信を受ける側に送信する。

返信を受ける側の携帯電話機 1 には、I の受信が表示され、これに応じることによって J の表示が行われる。

【 0 0 1 7 】

一方、F の受信がパソコンによって行われた場合には、F のリアクション 1 3 の項目をクリックすると、ディスプレイに K が表示され、i モード専用サイトによるモンタージュの作成メンバーへの加入を勧誘する説明が行われる。この場合、着信 F に相手側のアドレスが入力されていれば、i モードにおける G ～ J と同様の手順を経て返信を行うことが可能である。

以上の実施の形態では、インターネットのサーバを利用して画像情報、即ち、「顔モン」の作成、及びその送受信を説明したが、画像情報に限らず、容量の大きな文字データの作成、及びその送受信を行っても良い。例えば、A さんが B さんから受信した容量の大きな文字データを含んだメールを受信してインターネットのサーバに保存し、その一部を A さんの携帯電話機のディスプレイ上に表示し、それを加工してサーバに保存されている残りの部分と一緒にして C さんに転送しても良い。このようにして、携帯電話機のメモリの記憶容量を越えた容量の文字データを送受信することができる。

【 0 0 1 8 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明による情報伝達方法によれば、インターネットのサーバに記憶されているデータあるいは画像を送信端末のディスプレイ上に呼び出して送信データあるいは送信画像を作成し、作成した送信データあるいは送信画像をサーバに記憶させ、さらに、この送信データあるいは送信画像をサーバより配送することによって受信端末のディスプレイ上に表示するとともに、このときの送受信端末の少なくとも1つに携帯電話機等のモバイルツールを使用するため、メモリ容量を増やすことなくモバイルツールによるデータ送信あるいは画像送信が可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明による情報伝達方法の実施の形態を示す説明図であり、(a)は、送受信端末とサーバの関係を示す説明図、(b)は、画像の作成と送信手順を示す説明図である。

【図2】

モンタージュを作成するためのG I F画像における画素例を示したもので、(a)は顔の各パーツ、(b)は各パーツの合成を示す。

【図3】

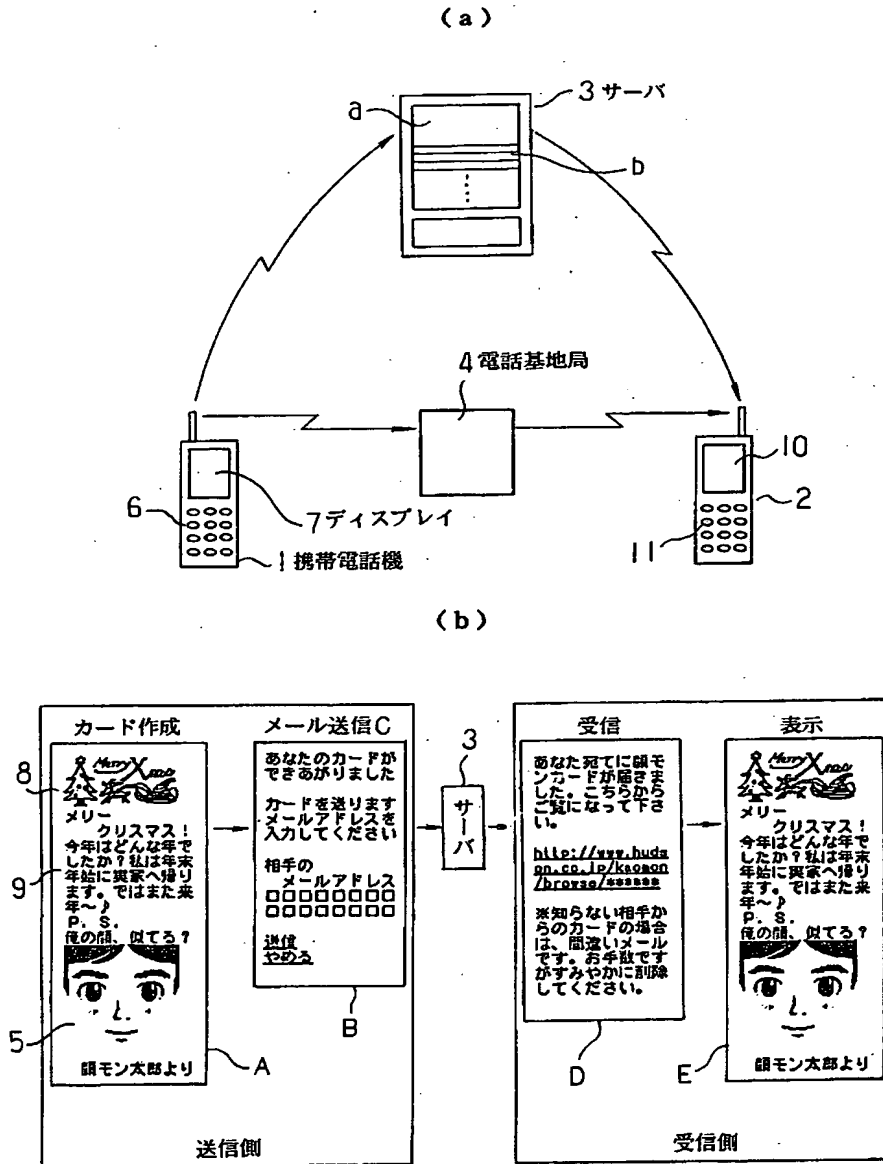
本発明の他の実施の形態を示す説明図。

【符号の説明】

1、2	携帯電話機
3	サーバ
4	電話基地
5	モンタージュ
6、11	キーボード
7、10	ディスプレイ

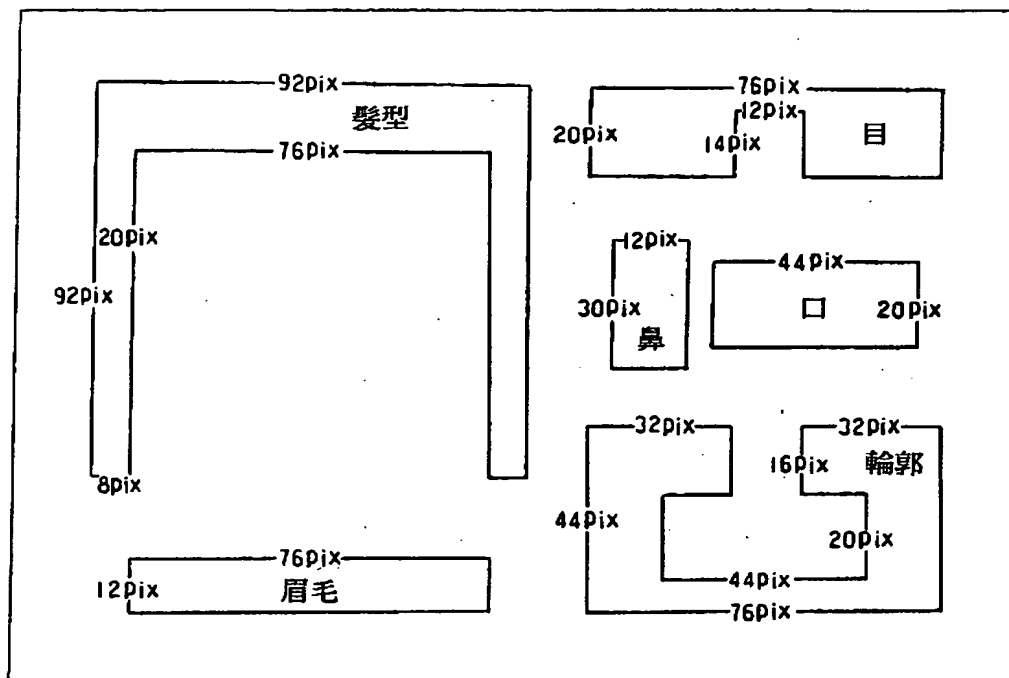
【書類名】 図面

【図 1】

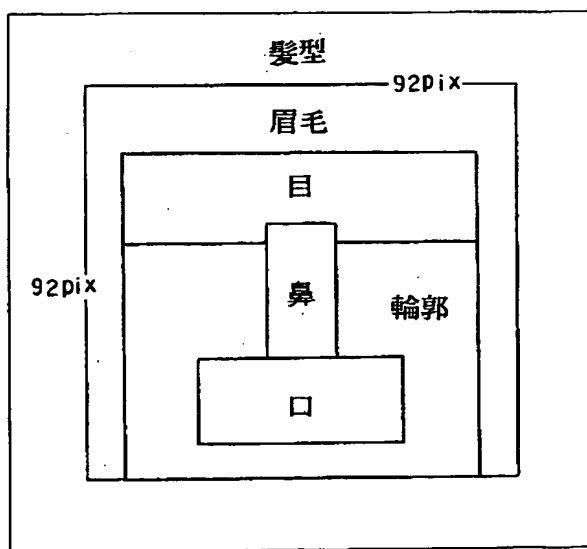


【図 2】

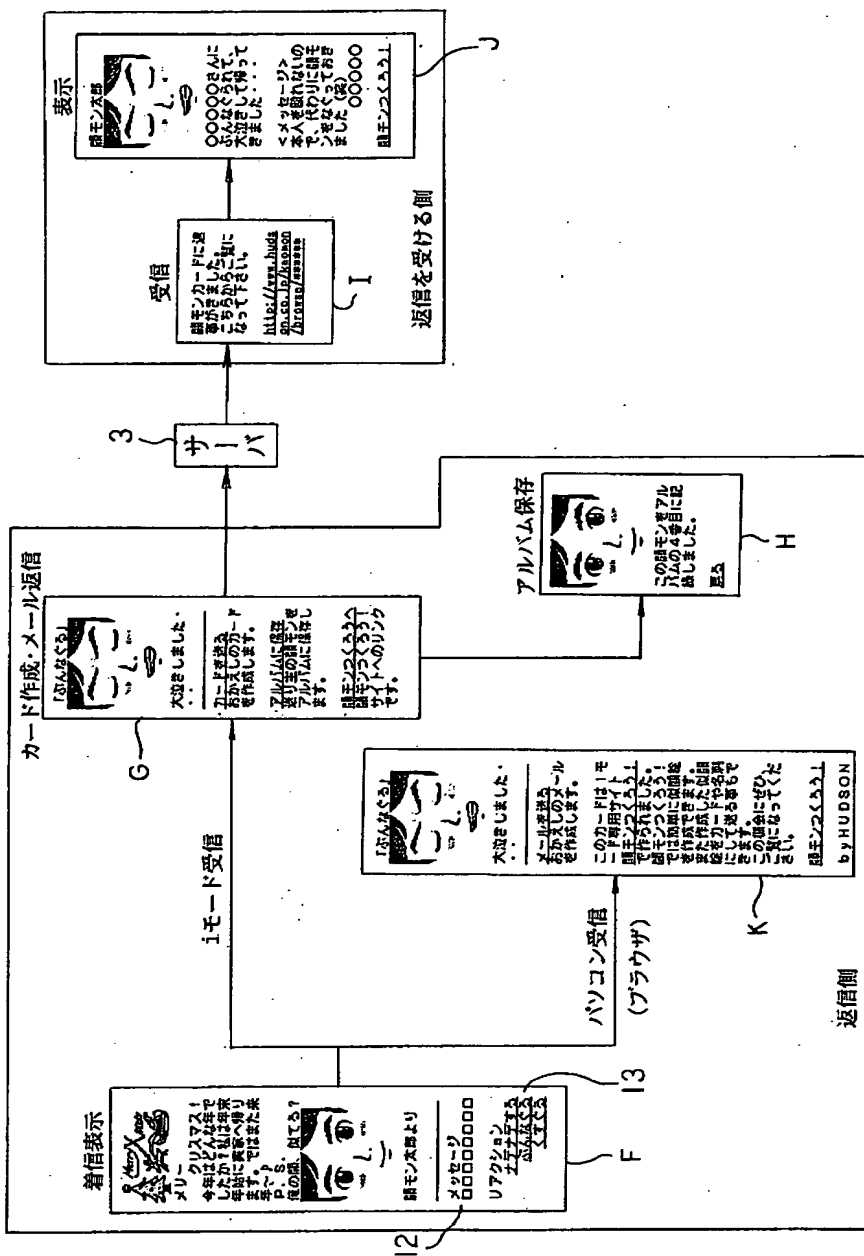
(a)



(b)



【図3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

モバイルツールによる画像情報の伝達を可能にした情報伝達方法を提供する。

【解決手段】

インターネットのサーバ 3 が記憶する画像を送信側の携帯電話機 1 のディスプレイ 7 上に呼び出して所定の送信画像 A を作成し、これをサーバ 3 に記憶させるとともに、サーバ 3 より受信側の携帯電話機 2 に配送する。サーバ 3 の記憶容量を利用して送信画像 A を作成し、サーバ 3 よりこれを配送するため、記憶容量を増やすことなく携帯電話機からの画像情報の伝達が可能になる。

【選択図】 図 1

特2000-118591

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-118591
受付番号	50000496147
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成12年 4月20日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 4月19日
-------	-------------

次頁無

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [591095856]

1. 変更年月日 1991年 4月10日
[変更理由] 新規登録
住 所 北海道札幌市豊平区平岸3条7丁目26番地
氏 名 株式会社ハドソン
2. 変更年月日 2000年 8月 8日
[変更理由] 住所変更
住 所 北海道札幌市北区北七条西一丁目1番地11
氏 名 株式会社ハドソン
3. 変更年月日 2000年 8月18日
[変更理由] 住所変更
住 所 北海道札幌市豊平区平岸三条五丁目4番22号
氏 名 株式会社ハドソン